

安管みやぎ

第 3 号

(一社)宮城県安全運転管理者協会・宮城県安全運転管理者事業主会連合会

令和 7 年

全ての座席でシートベルト!

警察庁と日本自動車連盟 (JAF) による、シートベルトの着用状況調査結果が発表されました。宮城県の着用状況は、**一般道路での後部座席の着用率が低調です。**

※警察庁広報 (R6. 2. 14)

一般道路 運転者 99.5% 助手席 98.0% **後部座席 38.7%**

高速道路 運転者 100% 助手席 100% 後部座席 85.5%

後部座席の着用率の全国平均 一般道 : 45.5% 高速道路 : 79.7%

シートベルトは、交通事故に遭った場合の被害を大幅に軽減するとともに、正しい運転姿勢を保たさせることによる疲労軽減効果もあります。全ての座席でシートベルトを着用しましょう。



横断歩道は歩行者優先!

昨年 8 月、信号機のない横断歩道に横断歩行者がいる状況で通過する車両の一時停止状況を「JAF」が調査した結果、宮城県の一時停止率は

宮城県 : **70.3%**

※ 全国平均 : **53.0%**

で、全国でベスト 6 位でした。

以前に比べると一時停止する車両が増えていますが、まだ 30% の車両は、**歩行者を無視**している状況です。

- ◇ 車両を運転している場合は
横断歩道に近づいたら減速しましょう
歩行者がいたら必ず一時停止しましょう

- ◇ 歩行者の場合は、
横断歩道では手を上げて意思表示をしましょう
停止車両には会釈など感謝の意思表示をしましょう



広めよう!



サイン・サンクス



～車への渡る合図とありがとう～

運動

信号機のない横断歩道では・・・

- ◆手を上げて《「サイン(合図)」》
渡り、止まってくれた車には
- ◆あいさつ《「サンクス(感謝)」》
をしましょう!



※『手を高く上げる』ことに抵抗がある方は、
手のひらを車に示すなどの『サイン』をしましょう。
ドライバーに渡ろうとしていることに気づいてもらう
ことが大切です。



安全が確認
できたら

横断中も
安全確認

1 横断歩道の手前で止まる(とまる)

Point



- ・ 車がいても、いなくても、
必ず一旦止まる
道路への飛び出しは
絶対にしない



2 安全確認をする(みる)



みぎ

ひだり

Point

- ・ 「車やバイク、自転車は来てい
ないかな？」
右左の安全を自分の目で確認
する



3 手を上げて「渡ります」と合図する(あいず)



Point

- ・ 合図は「自分がここにいるよ」「いまから渡るよ」ということを運転者に知らせるもの
- ・ 上げる手は右手でも左手でも良いが、運転者に見えるように上げる
- ・ 車が来ていなくても、見落としを防止するため手を上げる

わたります!



4 車が止まるのを待つ(まつ)



Point

- ・ 車が完全に止まるのを確認する
- ・ 手前だけでなく反対車線の車が止まるのも待つ

ここにあります!



5 車が止まったら、もう一度安全確認をする(みる)



Point

- ・ 車が止まってもバイクや自転車がすり抜けてくることがある
- ・ 手を上げたままで、再度安全確認をする

6 安全を確認しながら横断する(わたる)



Point

- ・ 横断中も手は上げたままで、周りの安全を確認しながら渡る



7 停止車両に対し「ありがとう」の挨拶をする(あいさつ)



Point

- ・ 渡り終えた時などには、停止車両に感謝を示す会釈をする
- ・ 止まってくれた車には「ありがとう」とあいさつしよう

ありがとう



 **ドライバーとハンド(手)サインでコンタクト**

※ 撮影場所: 宮城県警察学校敷地内
宮城県警察本部交通部交通企画課(022-221-7171)

『横断歩道は歩行者優先』 ゆずる思いやり 広がる交通安全の輪